

科目名称	英語学習法				ビジネス・キャリア	()	オフィス情報	()																
英文科目名称	Methods for Learning English				グローバル・コミュニケーション	(必)	医療事務・医療秘書	()																
科目コード	590082	授業形態	演習	単位数	1																			
教員氏名	水島 孝司		年次担当	1年次	前期	ホテル・観光	()	大学編入	()															
実務経験教員担当	有・ <input checked="" type="radio"/> 無		アクティブラーニング		<input checked="" type="radio"/> 有・無																			
授業概要及び授業方法	<p>計8回から成るこの授業では、本学で英語を担当する日本人専任教員2人が、学校にある学習リソースや、さまざまな英語の学習法について紹介する。2人の教員が数回ずつ授業を担当する。また、受講生の皆さんにはこれまでの英語学習歴を振り返ってもらい、これまでに楽しんで取り組めた教材や学習法、効果的だと感じた学習法などを紹介してもらう。</p> <p>ほぼ毎回の授業でレポートを課す。また、授業終了後の約1ヵ月の間に計8回の授業で紹介された学習法の1つか2つを一定期間実践した上で、A4判2枚のレポートを書いてもらう。</p> <p>本授業で自分に合った英語学習法を見つけ、それを実践して、短大2年間の英語力向上につなげてもらえればと願っている。</p>																							
関連する科目	Listening & Speaking I～Ⅲ、TOEIC演習 I～Ⅱ、英検演習 I～Ⅱ			卒業認定(学習成果)との関連		①, ②, ③, ④, ⑤																		
授業計画	<table border="0"> <tr> <td>1. オリエンテーション、英語学習歴の振り返り</td> <td>(水島 孝司)</td> </tr> <tr> <td>2. 学習リソースの紹介(図書館)、音読筆写</td> <td>(水島 孝司)</td> </tr> <tr> <td>3. Graded Readersを使った学習法、シャドーイング</td> <td>(水島 孝司)</td> </tr> <tr> <td>4. 英字新聞を使った学習法</td> <td>(水島 孝司)</td> </tr> <tr> <td>5. インターネットを使った英語学習</td> <td>(横堀 仁志)</td> </tr> <tr> <td>6. 英語の検定試験</td> <td>(横堀 仁志)</td> </tr> <tr> <td>7. Speakingに生かすWriting</td> <td>(横堀 仁志)</td> </tr> <tr> <td>8. 英語辞典の特徴と使い方、まとめ</td> <td>(水島 孝司)</td> </tr> </table>								1. オリエンテーション、英語学習歴の振り返り	(水島 孝司)	2. 学習リソースの紹介(図書館)、音読筆写	(水島 孝司)	3. Graded Readersを使った学習法、シャドーイング	(水島 孝司)	4. 英字新聞を使った学習法	(水島 孝司)	5. インターネットを使った英語学習	(横堀 仁志)	6. 英語の検定試験	(横堀 仁志)	7. Speakingに生かすWriting	(横堀 仁志)	8. 英語辞典の特徴と使い方、まとめ	(水島 孝司)
1. オリエンテーション、英語学習歴の振り返り	(水島 孝司)																							
2. 学習リソースの紹介(図書館)、音読筆写	(水島 孝司)																							
3. Graded Readersを使った学習法、シャドーイング	(水島 孝司)																							
4. 英字新聞を使った学習法	(水島 孝司)																							
5. インターネットを使った英語学習	(横堀 仁志)																							
6. 英語の検定試験	(横堀 仁志)																							
7. Speakingに生かすWriting	(横堀 仁志)																							
8. 英語辞典の特徴と使い方、まとめ	(水島 孝司)																							
授業時間外の学習	<p>① 授業で配布されたプリントや学んだ内容を復習する。 ② 授業で学んだ英語学習法を実践し、自分に合った学習法があればそれを継続する。 ③ 授業で教員から課される内容についてレポートを書く。 (学修に係る標準時間は週約2時間)</p>																							
授業の到達目標	<p>① 自分に合った英語学習法や教材を見つけることができる。 ② 英語学習のモチベーションを高めることができる。 ③ 目標設定や資格試験受験などの具体的な行動を起こすことができる。</p>																							
課題に対するフィードバック	提出されたレポートにコメントを書いて返却する。			評価方法・基準		レポート80点、授業参加度20点																		
テキスト	プリントを配布する。																							
参考書	適宜、授業で紹介する。																							
備考	<p>・単位取得のためには、授業期間中のレポートの半分以上を期限内に提出し、かつ授業終了後に英語学習法を実践して書くA4判2枚の最終レポートを期限内に提出しなければならない。これらを満たさない場合、成績は「失格」となり、再試験の受験もできない。</p>																							